

韓国との友好を更に進めるため、安倍首相は河野談話の継承を表明し、元慰安婦に誠意ある対応とするよう意見書の提出を求める請願

請願要旨

昭和十六年十二月八日、日本は米英蘭に対し宣戦を布告、太平洋戦争が始まりました。

これより先日本は滿州事変を起し、これを批判し、徹退を求める国際連盟の決議にも反対し、国際連盟をも脱退して外交的孤立を深めつきました。

南戦当時中国には既に百万の軍隊が派遣されて各地で戦闘し、これとは別に七十万の関東軍がソ連軍と対峙していました。

南戦当初破竹の勢いで勝利し日本軍はミッドウェイ海戦で大敗し、ガタルカナルでも多くの將兵を遺棄して徹退しました。

北米戦局は敗退の一途を辿り、サイパン島が陥落するに及んで、日本のすべての都市はB-29の爆撃下に曝され、東京では一晩で十万人を越える死者を出すに至りました。

沖縄の地上戦では軍民二十万人以上が死亡し、広島・長崎の原爆投下により二十万人^{以上}が死亡し、今も多くの人々が原爆病で苦しんでいます。

昭和二十年八月十五日、日本はポツダム宣言を受諾し、無条件降伏しました。

この戦争で日本人三百万人以上が死亡し、今なお百々の同胞が戦場になった外国の山野に遺棄されたまま帰還しておりません。

東京千葉山梨で編成された陸軍第一師団は対米決戦師団としてレイテに派兵され、優勢な米軍相手に戦い壊滅しました。レイテ戦での投入兵力は四十六万、戦没者七万九千人です。多くの郷土出身兵士も戦死しました。

更に日本軍に侵略されたアジア各国の死者は二十万を超えたと言われています。

従軍慰安婦問題はこのような戦争の中でもたらされた最も忌めしき問題であり、河野談話はこの問題に対する日本政府の誠実な対応を示す第一歩でありました。

や二次大戦後も世界に戦争が絶えないうち、
二度と戦争をしない事を世界に誓い、戦争
放棄の憲法を持つ日本は以後一度も戦争をせ
ず、一人も殺さず又殺されていません。

近代になって日本がこれほど平和である
時代はありません。

国民の生活にとって平和が一番です。

そのためにも歴史に学び日韓両国友好の障
害となつてくる慰安婦問題を河野談話の継承
と発展の上に立つて解決してゆくことを強く
求めます。